

齊雲山真仙洞府十大洞天・三十六所靖廬洞天・海中五嶽洞天・七十二福地

—齊雲山石刻にみえる洞天福地—

大形徹

はじめに

注1…『齊雲山石刻』程声主、西泠印社出版社、2014年。(唐)太和三年二月□□、(南宋)慶元年といった年号のものもあるが、きちんとしたものではない。宋鄒補之題刻には紹興癸丑(1193)とみえる。明清代のものが多い。

注2…p169 および p191～p194 は佚名碑刻とされている。それぞれの図版には何の説明もないため、それらの関係も不明であるが、文のつながり、字体などを考えるとp169のあとにp191、さらにp193がつながるようにみえる。その仮定のもとに算用数字の整理番号を付した。

『齊雲山石刻』^{*1}には、さまざまな洞天福地の名を羅列した石刻がいくつかある。一つは「齊雲山真仙洞府十大洞天・三十六所靖廬洞天・海中五嶽洞天・七十二福地」とされるもので、p169に写真がある。「作者：佚名 字體：楷體 年代：待考 立碑地點：真仙洞府 碑刻面積：200cm×55cm」とされる。作者、年代ともにわからない。

ここでは「十大洞天」「三十六所靖廬洞天」「海中五嶽洞天」「七十二福地」の四つに分けられている。それらの見出しの文字は、いずれも名を羅列した部分よりも一字上げられている。「十大洞天」には5、「三十六所靖廬洞天」には21、「海中五嶽洞天」には2、「七十二福地」には2、名が著録されている。「十」「三十六」「五」「七十二」という数と著録されている数とは全く符合していない。また、「海中五嶽洞天」という名の洞天は、司馬承禎(643-735)や杜光庭(850-933)の説いた洞天には見えないものである。

この碑は齊雲山の「真仙洞府」にある。しかし、そこに著録される地名には、齊雲山そのものの名はもとより、真仙洞府の名も記されていない。あるいはその別名が入っているのかもしれないが、現段階では、そのことは明らかではない。明、嘉靖二十四年(1545年)拳人、張雲路の「赴齊雲岩三種」の三に「洞天開一窟」と「洞天」の語が使われており、「洞天」と認識されていたことがわかる。

さらに「佚名碑刻」としてp191に福地真人が30、p193に福地真人が1が記され、そのあと「七十二福地」とされている。おそらくp191の碑刻と連続するのであろう^{*2}。さらにp194に記されるものは真人が13(そのうち新安仙に分類される福地真人が3)、禪師が2、道人1、仙姑1とあり、仏教の禪師まで含まれている。

拙稿では、これらの洞天の名前とそれぞれの碑刻との対照表を作り、また齊雲山と、どのような関係にあるのかについて、若干の考察を行いたい。あわせて、そこに記された固有名詞についても考察する。

一、佚名碑刻の原文

まず、碑に刻された洞天の名をそのまま列挙する。『齊雲山石刻』に掲載される碑刻のそれぞれの関係はよくわからないが、字体等から判断して、以下の表のa、bは連続し、c、dとは異なると思われる。

a 齊雲山真仙洞府十大洞天・三十六所靖廬洞天・海中五嶽洞天・七十二福地 『齊雲山石刻』 p169 作者：佚名 字體：楷體 年代：待考 立碑地點：真仙洞府 碑刻面積：200cm × 55cm	b 佚名碑刻 p191	c 佚名碑刻 p193	d 嗣派 汪泰元拜書 碑刻 p194
十大洞天 1 衡山朱陵大虛洞天 2 恒山太一總玄洞天 3 西城山太玄極真洞天 4 峨眉山虛靈大妙洞天 5 潛山天柱司玄洞天 三十六所靖廬洞天 1 委洞山大有崆峒洞天 2 西玄山三玄極真洞天 3 天台山赤城平蓋洞天 4 茅山華陽金壇洞天 5 括蒼山成德隱真洞天 6 廬山仙靈詠真洞天 7 陽明山極玄太元洞天 8 大圍山好生玄上洞天 9 武夷山昇化元真洞天 10 華蓋山容城太玉洞天 11 都橋山寶玄昆水洞天 12 勾漏山玉闕寶圭洞天 13 洞陽山洞明隱真洞天 14 大酉山大酉華妙洞天 15 麻姑山丹霞宛陵洞天 16 鍾山朱湖太生洞天 17 紫蓋山紫蓋玄照洞天 18 金華山金華洞元洞天 海中五嶽洞天 1 南嶽長離山赤帝洞天 2 北嶽廣野山黑帝洞天 七十二福地 1 竹蓋山福地真人 2 安山福地真人	3 東仙源福地真人 4 郁木阬福地真人 5 丹霞洞福地真人 6 桂源福地真人 7 沃州福地真人 8 若耶溪福地真人 9 馬嶺山福地真人 10 洞真墟福地真人 11 天光壇福地真人	1 地肺山福地真人 七十二福地 1 中嶽崑崙山黃帝洞天 2 西嶽麗農山白帝洞天 3 東嶽廣桑山青帝洞天 海中五嶽洞天 4 桃源山白馬玄光洞天 5 良常山良常方會洞天 6 青田山青田大鶴洞天 7 金庭山金庭崇妙洞天 8 □(暮?) □山洞真太虛洞天 9 九嶷山朝真太虛洞天 10 白石山瓊秀長真洞天 11 竹蓋山長曜寶玄洞天 12 玉笥山太秀法樂洞天 13 鬼谷山太玄思真洞天 14 西山天寶極真洞天 15 四明山丹山赤水洞天 16 霍童山行山霍林洞天 17 林屋山尤神幽虛洞天 18 羅浮山朱明耀真洞天 19 天目山太微玄蓋洞天 20 仙都山玄都祈仙洞 21 王屋山小有清虛洞 三十六所靖廬洞天 1 太白山太白玄光洞天 2 青城山寶仙九室洞天 3 嵩山上帝思真洞天 4 華山太極總仙洞天 5 泰山岱宗蓬玄洞天 十大洞天	嗣派汪泰元拜書 1 度師凝粹大初黃真人 2 創業潛陽以先汪真人 3 開山天谷道元余真人 4 昭回嗣漢禪師 5 葆真應夢石真人 6 道軒福道李真人 7 野仙彥隆金真人 8 食□原育曹真人 9 隱顯度新安□道人 10 靜□□泉鄭仙姑 11 雪山子道茂禪師 12 國師分通何真人 13 宗微師道聶真人 14 法融定莊禪師 15 通元全福鄭真人 新安仙 1 玉瑠山福地真人 2 西山□福地真人 3 少室山福地真人 4 太和山福地真人

12	陶山福地真人	
13	三皇福地真人	
14	勒溪福地真人	
15	靈山福地真人	
16	始豊山福地真人	
17	東白源福地真人	
18	論山福地真人	
19	鷄口（龍？）山福地真人	
20	平都山福地真人	
21	彰觀山福地真人	
22	大面上福地真人	
23	辰山福地真人	
24	徳山福地真人	
26	玉峯福地真人	
26	南山福地真人	
27	魚湖洞福地真人	
28	司馬山福地真人	
29	井口山福地真人	
30	金城山福地真人	
31	武當山福地真人	
32	女几山福地真人	

さきに述べたように ab は連続していると考えた。ab と c については、見出しの順序が逆であることと、字体は似るものの微妙に異なることから連続していないと考えた。

二、『齊雲山石刻』と司馬承禎・杜光庭の比較表

さて、上記の表の内容を司馬承禎『天地宮府圖』、杜光庭『洞天福地嶽瀆名山記』の洞天福地の内容と照合するとどうなるのであろう。イを十大洞天、ロを三十六小洞天、ハを七十二福地、数字はそこにあらわれる順番として分類した。

a 齊雲山真仙洞府十大洞天・三十六所靖廬洞天・海中五嶽洞天・七十二福地 『齊雲山石刻』 p169 作者：佚名 字體：楷體 年代：待考 立碑地點：真仙洞府 碑刻面積：200cm × 55cm	司馬承禎 『天地宮府圖』	杜光庭 『洞天福地嶽瀆名山記』	備考 ※唐、司馬承禎、唐、杜光庭の十大洞天をイ、三十六小洞天をロ、七十二福地をハとした。数字はその中での順序。
十大洞天			
1 衡山朱陵大虚洞天	ロ3 第三南嶽衡山洞、周廻七百里、朱陵洞天、衡州衡山縣、仙人石長生治之	ロ3 衡山七百里、朱陵洞天、衡州衡山縣	衡山は南嶽である。五嶽は唐代の洞天では三十六小洞天に入れているが、ここでは十大洞天に入れている。
2 恒山太一總玄洞天	ロ5 第五北嶽常山洞、周廻三千里、惣玄洞天、恒州常山曲陽縣、真人鄭子真治之	ロ5 北嶽常山、一百里、總玄洞天	北嶽も同様に本来は三十六小洞天。
3 西城山太玄極真洞天	イ3 西城山洞、太玄惣真之天、周廻三千里、是屬上宰王君治之、未詳在所、登真隱訣云、疑終南太一山	イ3 西城洞太玄總真天、周廻三千里、王方平所理、蜀州	※この西城山以外、いずれも本来の十大洞天ではない。
4 峨眉山虚靈大妙洞天			
5 潜山天柱司玄洞天	ロ14 潜山洞、周廻八十里、天柱司玄天、舒州懷寧縣、仙人稷丘子治之。	ロ14 潜山、一千三百里、天柱司玄洞天、舒州、桐城縣、九天司命	※『列仙傳』卷上に潜山
三十六所靖廬洞天			靖廬については、以下の伝説があるが、三十六小洞天との関係は不明。董斯張撰、『廣博物志』卷五、地形、總地、山、「威烈王以安車迓匡續、續仙去、惟廬存、因命其山為靖廬山。…（謝顯、廣福觀碑）」

1 委洞山大有崆峒洞天	イ2 委羽山洞、大有空明之天、周廻萬里、青童君治之、台州黃巖縣去縣三十里。	イ2 委羽洞、大有虛明天、周廻萬里、司馬季主所理、武州。	※『紫陽真人内傳』に青眞小童君、『眞誥』卷之六に「方諸青童君」。 ※『紫陽真人内傳』、『眞誥』卷之五に司馬季主、『洞玄靈寶眞靈位業圖 [0166]』の第三中位の右位にも司馬季主。
2 西玄山三玄極真洞天	イ4 西玄山洞、三元極真洞天、周廻三千里、恐非人跡所及、莫知其所在。	イ4 西玄洞、三玄極真天、廣二千里、裴君所理、金州。	
3 天台山赤城平盖洞天	イ6 赤城山洞、上清玉平之洞天、周廻三百里、屬玄洲仙伯治之、台州、唐興縣。	イ6 赤城洞、上玉清平天、廣八百里、王君所理、台州、唐興縣。	※『周氏冥通記』卷之一に赤城。
4 茅山華陽金壇洞天	句曲山洞、金壇華陽之洞天、周廻一百五十里、屬紫陽真人治之、潤州、句容縣。	句曲洞、金壇華陽天、廣百五十里、茅君所理潤州、句容縣。	※『眞誥』卷之十一稽神樞、『洞玄靈寶眞靈位業圖』、『周氏冥通記』卷之三に句曲山。
5 括蒼山成德隱真洞天	イ10 括蒼山洞、成德隱玄之洞天、周廻三百里、屬北海公涓子治之、處州、樂安縣。	イ10 括蒼洞、成德隱真天、廣三百里、平仲節所理、在台州、樂安縣。	※『洞玄靈寶眞靈位業圖』に括蒼。
6 廬山仙靈詠真洞天	ロ8 廬山洞、周廻一百八十里、洞靈真天、江州、德安縣、真人周正時治之。	ロ8 廬山、三百里、洞虛詠真洞天、江州、潯陽縣、九天使者。	※『洞玄靈寶眞靈位業圖』に廬山。
7 陽明山極玄太元洞天	ロ10 會稽山洞、周廻三百五十里、極玄大元天、越州、山陰縣鏡湖中、仙人郭華治之。	ロ10 會稽山、三百里、極玄陽明洞天、越州、會稽縣、夏禹探書。	

8 大圍山好生玄上洞天	□ 13 小瀉山洞、周迴三百里、好生玄上天、潭州、澧陵縣、仙人花丘林治之。	□ 13 大圍山、三百里、好生上元洞天、潭州、醴陵縣、傳天師所居石室仙壇。	
9 武夷山昇化元真洞天	□ 16 武夷山洞、周迴一百二十、真昇化玄天、建州、建陽縣、真人劉少公治之。	□ 15 武夷山、百二十里、昇真化玄洞天、建州、建陽縣、毛竹武夷君。	
10 華蓋山容城太玉洞天	□ 18 華蓋山洞、周迴四十里、容成大玉天、温州、永嘉縣、仙人羊公修治之。	□ 17 華蓋山、四千里、容城太玉洞天、温州、永嘉縣。	
11 都嶠山寶玄昆水洞天	□ 20 都嶠山洞、周迴一百八十里、寶玄洞天、容州、普寧縣、仙人劉根治之。	□ 20 都嶠山、八十里、太上寶玄、洞天、容州。	
12 勾漏山玉闕寶圭洞天	□ 22 峒嶠山洞、周迴四十里、玉闕寶圭天、容州、北流縣、屬仙人饒真人治之。	□ 22 勾漏山、三十里、玉闕寶圭洞天、容州、有石室、丹井。	
13 洞陽山洞明隱真洞天	□ 24 洞陽山洞、周迴一百五十里、洞陽隱觀天、潭州、長沙縣、劉真人治之。	□ 24 洞陽山、百五十里、洞陽隱觀洞天、潭州、長沙縣。	
14 大西山大西華妙洞天	□ 26 大西山洞、周迴一百里、大西華妙天、去辰州七十里、尹真人治之。	□ 26 大西山、一百里、大西華妙洞天、辰州界。	
15 麻姑山丹霞宛陵洞天	□ 28 麻姑山洞、周迴一百五十里、丹霞天、撫州、南城縣、屬王真人治之。	□ 28 麻姑山、一百五十里、丹霞洞天、撫州、南城縣、麻姑上昇。	

16 鍾山朱湖太生洞天	口 31 鍾山洞、周廻 一百里、朱日太生天、 潤州、上元縣、屬龔 真人治之。	口 32 鍾山、一百里、 朱湖太生洞天、潤州、 上元縣。	※郭璞注『穆天子傳』卷之 二に鍾山。『紫陽真人内傳』 にも鍾山。
17 紫蓋山紫蓋玄照洞天	口 33 紫蓋山洞、周廻 八十里、紫玄洞照天、 荊州、常陽縣、屬公羽 真人治之。	口 36 紫蓋山、八十里、 紫玄洞、盟洞天、韶州、 曲江縣。	
18 金華山金華洞元洞天	口 36 金華山洞、周廻 五十里、金華洞元天、 婺州、金華縣、屬戴真 人治之。	口 35 金華山、五十里、 金華洞元洞天、婺州、 金華縣、有皇初平赤松 觀。	
海中五嶽洞天			
1 南嶽長離山赤帝洞天			宋、潘自牧撰、『記纂淵海』 卷八十六、仙道部、神仙 蓬壺閼苑海上五岳靈山ほ か。別項目で考察。
2 北嶽廣野山黑帝洞天			同上。
七十二福地			
1 竹蓋山福地真人			c8に 竹蓋山長曜寶玄洞天。
2 安山福地真人	ハ 20 安山、交州北、 屬先生治之、安期先生 隱處。	ハ 22 安山、交州、安 期先生居處。	
b 佚名碑刻 p191			
3 東仙源福地真人			

4 郁木阬福地真人	ハ9 郁木洞、在玉笥山南、屬地仙赤魯班主之、是蕭子雲侍郎隱處、至今陰雨、猶聞絲竹之音、徃徃樵人遇之。	ハ8 郁木坑、吉州。	
5 丹霞洞福地真人	ハ10 丹霞洞、在麻姑山、屬蔡真人治之、是蔡經真人得道之處、至今雨夜多聞鐘磬之聲。	口28 麻姑山、一百五十里、丹霞洞天、撫州、南城縣、麻姑上昇。	
6 桂源福地真人		ハ12 桂源、連州	
7 沃州福地真人	ハ15 沃州、越州、剡縣南、屬真人方明所治之。	ハ16 沃洲、越州、剡縣。	
8 若耶溪福地真人	ハ17 若耶溪、越州、會稽縣南、屬真人山世遠所治之。	ハ18 若耶溪、越州、南樵風徑。	
9 馬嶺山福地真人	ハ21 馬嶺山、郴州郭內水東、屬真人力牧主之、蘇耽隱處。	ハ23 馬嶺、郴州、蘇耽上昇處。	
10 洞真墟福地真人	ハ23 洞真墟、潭州、長沙縣、西嶽真人韓終所治之處。	ハ25 洞真壇、南嶽、長沙。	
11 天光壇福地真人			
12 陶山福地真人	ハ28 陶山、温州、安國縣、陶先生曾隱居此處。	ハ29 陶山、温州、安固縣、貞白先生修藥處。	
13 三皇福地真人	ハ29 三皇井、温州、橫陽縣、真人鮑察所治處。		

14 勒溪福地真人	ハ31 勒溪、建州、建陽縣東、是孔子遺硯之所。	ハ32 勒溪、建州、建陽縣。	
15 靈山福地真人	ハ33 靈山、信州、上饒縣北、墨真人治之	ハ33 靈應山、饒州北、施真人宅。	
16 始豐山福地真人	ハ37 始豐山、洪州、豐城縣、尹真人所治之地。	ハ37 始豐山、洪州、豐城縣。	
17 東白源福地真人	ハ39 東白源、洪州、新吳縣東、劉仙人所治之地。	ハ39 東白源、洪州、新吳縣、鍾真人宅。	
18 論山福地真人	ハ41 論山、潤州、丹徒縣、是終真人治之	ハ41 論山、丹徒縣。	
19 鷄□（龍？）山福地真人	ハ43 鷄籠山、和州、歷陽縣、屬郭真人治之。		
20 平都山福地真人	ハ45 平都山、忠州、是陰真君上昇之處。	ハ45 平都山、忠州、酆都縣、陰君上昇處。	
21 彰觀山福地真人	ハ48 彰龍山、潭州、澧陵縣北、屬臧先生治之。	ハ47 章觀山、澧州、澧陽縣。	
22 大面上福地真人	ハ50 大面山、益州、成都縣、屬仙人栢成子治之。	ハ49 大面山、蜀州、青城山羅真人所居。	
23 辰山福地真人			
24 德山福地真人			
25 玉峯福地真人	ハ56 玉峰、在西都京兆縣、屬仙人栢戸治之。	ハ55 王峯、藍田縣。	
26 南山福地真人			
27 魚湖洞福地真人			
28 司馬山福地真人			

29 井口山福地真人			
30 金城山福地真人	ハ68 金城山、在古限戍、又云石戍、是石真人所治之處。	ハ70 金城山、雲中郡。	
31 武當山福地真人		ハ10 武當山、均州。	
32 女几山福地真人			
c 佚名碑刻 p193	司馬承禎 『天地宮府圖』	杜光庭 『洞天福地嶽瀆名山記』	備考
1 地肺山福地真人	ハ1 地肺山、江寧府、句容縣、真人謝允治之界、昔陶隱居幽栖之處 ※『真誥』卷之十一稽神樞に地肺	ハ1 地肺山、在茅山、有紫陽觀、乃許長史宅。	先に考察したようにbとは連続していないと考えた。ただなぜ福地が一つだけなのかは不明。ここに掲載されていない写真があるのかもしれない。
七十二福地			これ以前のものに対する見出し。
1 中嶽崑崙山黃帝洞			宋、潘自牧撰、『記纂淵海』卷八十六、仙道部、神仙。蓬壺閬苑海上五岳靈山ほか。別項目で考察
2 西嶽麗農山白帝洞			同上。
3 東嶽廣桑山青帝洞			同上。
海中五嶽洞天			これ以前のものに対する見出し。
1 桃源山白馬玄光洞天	ロ35 桃源山洞、周廻七十里、白馬玄光天、朗洲、武陵縣、屬謝真人治之。	ロ34 桃源山、七十里、白馬玄光洞天、朗州、武陵縣。	
2 良常山良常方會洞天	ロ32 良常山洞、周廻三十里、良常放命洞天、潤州、句容縣、屬李真人治之。	ロ33 良常山、三十里、良常方會洞天、茅山東北中、茅君所居。	※『周氏冥通記』卷之一に良常山。

3 青田山青田大鶴洞天	□ 30 青田山洞、周廻四十五里、青田大鶴天、處州、青田縣、屬傳真人治之。	□ 30 青田山、四十里、青田大鶴洞天、處州、青田縣、葉天師居之。	
4 金庭山金庭崇妙洞天	□ 27 金庭山洞、周廻三百里、金庭崇妙天、越州、剡縣、屬趙仙伯治之。	□ 27 金庭山、三百里、金庭崇妙洞天、越州、剡縣、褚伯玉沈休文居之	
5 □ (暮?) □山洞真太虚洞天			
6 九疑山朝真太虚洞天	□ 23 九疑山洞、周廻三千里、朝真太虚天、道州、延唐縣、仙人嚴真青治之。	□ 23 九疑山、三十里、湘真太虚洞天、道州、延唐縣。	※『洞玄靈寶真靈位業圖』に九疑山。
7 白石山瓊秀長真洞天			
8 竹盖山長曜寶玄洞天	□ 19 蓋竹山洞、周廻八十里、長曜寶光天、台州、黃巖縣、屬仙人商丘子治之。	□ 19 盖竹山、八十里、長曜寶光洞天、台州、黃巖縣、葛仙公所居。	a 七十二福地 1 に竹盖山福地真人とある。 ※『洞玄靈寶真靈位業圖』に蓋竹山。
9 玉笥山太秀法樂洞天	□ 17 玉笥山洞、周廻一百二十里、太玄法樂天、吉州、永新縣、真人梁伯鸞治之。	□ 18 玉笥山、百二十里、太秀法樂洞天、吉州、新淦縣。	
10 鬼谷山太玄思真洞天	□ 15 鬼谷山洞、周廻七十里、貴玄司真天、信州、貴溪縣。真人崔文子治之。	□ 16 鬼谷山、七十里、貴玄思真洞天、信州、貴溪縣。	
11 西山天寶極真洞天	□ 12 西山洞、周廻三百里、天柱寶極玄天、洪州、南昌縣、真人唐公成治之。	□ 12 西山、三百里、天寶極玄洞天、洪州、南昌縣、洪崖所居。	
12 四明山丹山赤水洞天	□ 9 四明山洞、周廻一百八十里、丹山赤水天、越州、上虞縣、真人刁道林治之。	□ 9 四明山、一百八十里、丹山赤水洞天、越州、餘姚縣、劉樊得道。	

13 霍童山行山霍林洞天	口 1 霍桐山洞、周廻三千里、霍林洞天、福州、長溪縣、屬仙人王緯玄治之。	口 1 霍童山、三千里、霍林洞天、福州、長溪縣。	
14 林屋山尤神幽虛洞天	イ 9 林屋山洞、佐神幽虛之洞天、周廻四百里、屬北嶽真人治之、在洞庭湖口	イ 9 林屋洞、左神幽墟天、廣四百里、龍威丈人所理、蘇州、吳縣。	※洞玄靈寶真靈位業圖 [0166]『周氏冥通記』卷之三に林屋山。
15 羅浮山朱明耀真洞天	イ 7 羅浮山洞、朱明輝真之洞天、周廻五百里、屬青精先生治之、循州、博羅縣。	イ 7 羅浮洞、朱明曜真天、廣一千里、葛洪所理、修州、博羅縣。	
16 天目山太微玄蓋洞天	口 34 天目山洞、周廻一百里、天蓋滌玄天、杭州、餘杭縣、屬姜真人治之。		
17 仙都山玄都祈仙洞王	口 29 仙都山洞、周廻三百里、仙都祈仙天、處州、縉雲縣、屬趙真人治之。	口 29 仙都山、三百里、仙都祈仙洞天、處州、縉雲縣、黃帝上昇。	
18 王屋山小有清虛洞	イ 1 王屋山洞、小有清虛之天、周廻萬里、屬西城王君治之、洛陽河陽兩界去王屋縣六十里。	イ 1 王屋洞、小有清虛天、周廻萬里、五襃所理、洛州王屋縣。	※『紫陽真人内傳』、陶弘景撰『周氏冥通記 [0312]』卷之四に王屋山。
19 三十六所靖廬洞天			これ以前のものに対する見出し。
20 太白山太白玄光洞天	口 11 太白山洞、周廻五百里、玄德洞天、京兆府、長安縣、連終南山、仙人張季連治之。	口 11 方白山、五百里、德玄洞天、京兆、盩厔縣、太上所現壇。	※『列仙傳』卷下に太白山。

21 青城山寶仙九室洞天	イ 5 青城山洞、寶仙九室之洞天、周廻二千里、屬青城丈人治之、蜀州、青城縣。	イ 5 青城洞、寶仙九室天、廣二千里、甯真君所理、蜀州、青城縣。	
22 嵩山上帝思真洞天	ロ 6 中嶽嵩山洞、周廻三千里、司馬洞天、東都、登封縣、仙人鄧雲山治之。	ロ 6 嵩山、三千里、司真洞天。	
23 華山太極總仙洞天	ロ 4 西嶽華山洞、周廻三百里、惣仙洞天、華州、華陰縣、真人惠車子主之。	ロ 4 西嶽、華山、三百里、總真洞天。	
24 泰山岱宗蓬玄洞天	ロ 2 東嶽、周廻一千里、蓬玄洞天、兗州乾封縣、山圖公子治之。	ロ 2 太山、一千里、蓬玄洞天、兗州、乾封縣。	
十大洞天			これ以前のものに対する見出し。

d 嗣派 汪泰元拝書 碑刻 p194 汪泰源は休寧県藍田人、養素道人、紫霄道人。玉虚宮主持、齊雲山道長。明・正徳十年癸酉（1515）に紫霄崖の下に玉虚宮を建築。明・正徳癸酉（1513）の楷書の題刻「紫霄崖」がある。p53	司馬承禎 『天地宮府圖』	杜光庭 『洞天福地嶽瀆名山記』	備考
1 度師凝粹大初黄真人			黄真人は多々あり、特定できず。
2 創業潜陽以先汪真人			特定できず
3 開山天谷道元余真人			不明
4 昭回嗣漢禪師			不明
5 葆真應夢石真人			不明
6 道軒福道李真人			不明
7 野仙彦隆金真人			不明
8 滄□（雨冠 + 下部不明）原育曹真人			不明

9 隱顯度新安□道人			不明
10 靜□□泉鄭仙姑			特定できず
11 雪山子道茂禪師			特定できず
12 國師分通何真人			特定できず
13 宗微師道聶真人			宋、羅願撰、『羅鄂州小集』卷六、 <u>聶真人師道傳</u> 、 <u>聶師道</u> 、字宗微、歙縣人。…
14 法融定莊禪師			不明。
15 通元全福鄭真人			『江西通志』卷一百四、仙釋、饒州府、唐に <u>鄭全福</u> 浮梁人…とみえる。
新安仙			黃山市祁門県新安か？
16 玉溜山福地真人	ハ 7 玉溜山、屬地仙許邁治之、在東海近蓬萊島、上多眞仙居之。		
17 西山福地真人		ロ 12 西山、三百里、天寶極玄洞天、洪州、南昌縣、洪崖所居。	
18 少室山福地真人		ハ 65 少室山、河南府連中嶽。	
19 太和山福地真人			太和山は武当山の別名か？

以上、a、b、c、d に関して簡単な表を作り、司馬承禎、杜光庭の洞天福地と対照したが、法則性を見いだすことは難しい。本来の十大洞天・三十六小洞天・七十二福地ともあまり対応していない。

十大洞天
 衡山朱陵大虛洞天
 恒山太一總玄洞天
 西城山太玄極真洞天
 峨嵋山虛靈大妙洞天
 潛山夫柱司玄洞天
 三十六所靖廬洞天
 委洞山大有崆峒洞天
 西玄山三玄極真洞天
 天台山赤城平蓋洞天
 茅山華陽金壇洞天
 括蒼山成德隱真洞天
 廬山仙靈詠真洞天
 陽明山極玄太元洞天
 大園山好生玄上洞天

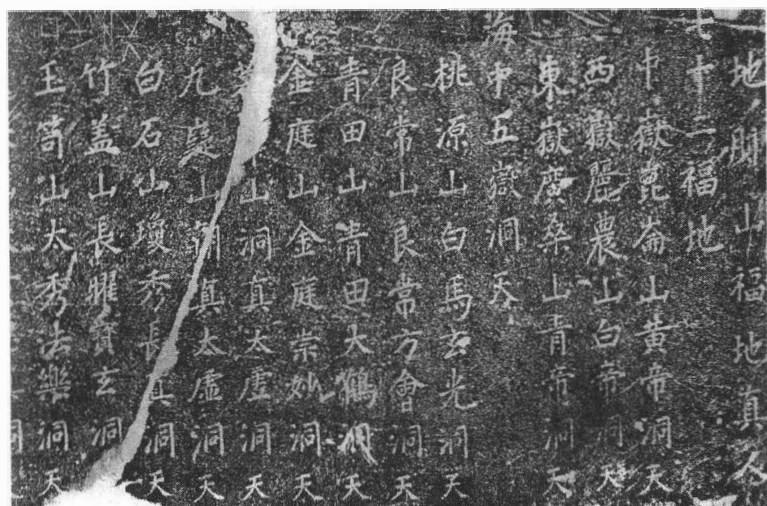
a-1

武夷山昇化元真洞天
 華蓋山容城太玉洞天
 都嶠山寶玄崑水洞天
 勾漏山玉閭寶圭洞天
 洞陽山洞明隱真洞天
 大酉山大酉華妙洞天
 麻姑山丹霞宛陵洞天
 鍾山朱湖太生洞天
 紫蓋山紫蓋玄照洞天
 金華山金華洞元洞天
 海中五嶽洞天
 南嶽長離山赤帝洞天
 北嶽廣野山黑帝洞天
 七十二福地
 竹蓋山福地真人
 安山福地真人

a-2

東仙源福地真人
 郁木院福地真人
 丹霞洞福地真人
 桂州福地真人
 沃州福地真人
 若耶溪福地真人
 馬嶺山福地真人
 洞真墟福地真人
 天光壇福地真人
 陶山福地真人
 三阜井福地真人
 勒溪福地真人
 靈山福地真人
 逍遙山福地真人
 始豐山福地真人
 東白源福地真人
 論山福地真人
 龍虎山福地真人
 平都山福地真人
 彰觀山福地真人
 大面山福地真人
 辰山福地真人
 德山福地真人
 玉峯福地真人
 商山福地真人
 魚湖洞福地真人
 桐馬山福地真人
 井石福地真人
 金城山福地真人
 武當山福地真人
 女几山福地真人

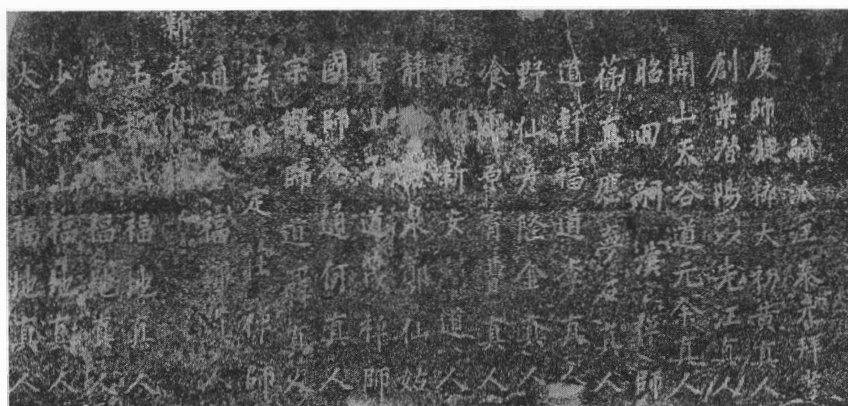
b



c-1



c-1



d



洞門玉樹部分



真仙道府内の碑刻

三、海中五岳洞天

海中五岳洞天という名の洞天は、司馬承禎・杜光庭の洞天の中にはあらわれない。ここでは、その名称などについて考察する。

先にみたように、bの海中五嶽洞天に

- 1 南嶽長離山赤帝洞天
- 2 北嶽廣野山黑帝洞天

cの海中五嶽洞天に

- 1 中嶽崑崙山黄帝洞
- 2 西嶽麗農山白帝洞
- 3 東嶽廣桑山青帝洞

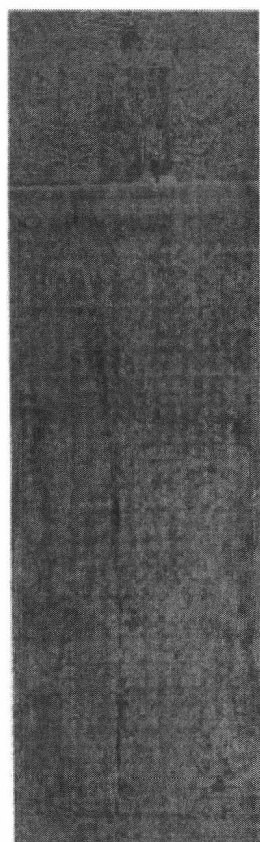
とみえる。

あわせると5つになるが、上の2つは「洞天」で、下の3つは「洞」である。

「海上五岳」として、唐、虞世南撰、明、陳禹謨補註『北堂書鈔』卷一百六十、地理部、名山四十一に「海上五岳」とある。

その注に

龍魚河圖云、崑崙山、天中柱也。葛仙公傳云、崑崙一曰玄圃、一曰積石瑤房、一曰閭風臺、一曰華蓋、一曰天柱、皆神仙所居。案、雲笈七籤云、崑崙山者、天之中岳也。廣乘山者、天之東岳也。長離山者、天之南岳也。



真仙洞記

麗農山者、天之西岳也。廣野山者、天之北岳也。

とみえる。

宋、潘自牧撰、『記纂淵海』卷八十六、仙道部、神仙には、「右見雲笈七籤天地宮府図」と引用を明らかにしたうえで、十大洞天、三十六小洞天、七十二福地が記されている。そのすぐあとに、「蓬壺閭苑海上五岳靈山」という見出しをつけて、以下の文章が掲載されている。つまり「海上五岳」である。

廣乘山者、天之東岳也。在東海之中、為五岳發生之首。上有碧霞之闕、瓊樹、寒林、紫雀、翠鸞、碧藕、白橘、莫可名狀。即青帝天君靈威仰、統領仙官、兵吏、萬衆、鎮此山。主歲星之精、居九氣青天之内矣。

長離山者、天之南岳也。在南海之中、上有朱宮、經闕、赤室、丹房、朱草、紅芝、霞高、金體、莫可名狀。應天下初得道、神仙皆詣此宮。營形浴質、銷陰煉陽、為長生久視之道。即赤帝天君赤熛怒、統領仙官、神吏、萬衆、鎮此山。主熒惑之精、居二氣丹天之内矣。

麗農山者、天之西岳也。在西海之中、山有白華之闕、三素之城、玉泉之宮、瑤林、瑞獸、莫可名狀。即白帝天君白招拒、統領仙官、神吏、鎮此山。主太白之精、居七氣素天之内矣。

廣野山者、天之北岳也。在北海弱水之中、形如崑崙、酆都、羅山、合為陰氣之主、上多瓊樓、寶闕、金液龍芝、莫可名狀。即黑帝天君叶光紀、統領仙官、神吏、鎮此山。主辰星之精、居五氣玄天之内矣。

崑崙山者、天之中岳也。在八海之間、上當天心、形如偃蓋、上廣下狹、三成而上與天齊、日月黃赤二道交會其上、三光行焉。東曰、崑崙、西曰、玄圃、北曰、閭苑、南積石山、大玄山、水泉山、北口山、四面各一萬里、上有瓊華之闕、光碧之堂、瑤池、翠水、即西王母統衆仙居焉。海中四岳為枝幹、十洲四島入海、大川圍繞其側、絕頂之高、上有金臺、五所、玉樓、十二金城千里。地生金根之樹、瓊柯之林、紫雀、翠鸞、碧桃、白李、百寶、妙嚴、莫可紀述。即黃帝天君含樞紐、統領天大聖衆、鎮此山。皆與五岳名山相連、常有神仙往來、考校、生籍。上主鎮星之精、居於中元一氣天中焉。其外海之五岳、即天地之五鎮、造化之五岳、即五氣之宗祖矣。

『記纂淵海』の「蓬壺閭苑海上五岳靈山」には、洞天という語はなく、中の文章の中にも「洞」の語はない。洞天福地の話のすぐあとに、引用されているだけである。

一方、齊雲山の石刻、c 佚名碑刻 p193 では、「海中五嶽洞天」という見出しのもとで、「中嶽崑崙山黃帝洞」「西嶽麗農山白帝洞」「東嶽廣桑山青帝洞」

の3つの洞が著録されている。いずれも洞天とされている。そして、それぞれの内容にも「洞」の語が使われている。

「海上五岳」と「海中五嶽」で表記は異なっているが、意味の差が、どれほどあるのかについてはよくわからない。なお「廣桑山」は「廣乘山」と文字が似ているので、字形の誤りであろう。

明、陳耀文撰、『天中記』巻八、崑崙山にも、海上五岳とあり、そのあと、

廣乘山。廣乘山者、天之東岳也。在東海之中、為五岳發生之首。上有碧霞之闕、瓊樹、寒林、紫雀、翠鸞、碧藕、白橘、莫可名狀。即青帝天君靈威仰、仙官統兵吏、萬衆、鎮此山。上主歲星之精、居九氣青天之内矣。

長離山。長離山者、天之南岳也。在南海之中、上有朱宮、絳闕、赤室、丹房、朱草、紫芝、霞膏、金體、若^{ママ}〔大形注「若」は「莫」の誤りか?〕可名狀、應天下初得道、神仙皆詣此宮。營形浴質、肖陰煉陽、為長生久視之道。即赤帝天君赤熛怒、統領仙官、神吏、萬衆、鎮此山。上主熒惑之精、居二氣丹田之内矣。

麗農山。麗農山者、天之西岳也。在西海之中、上有白華之闕、三素之城、玉泉之宮、瑤林瑞獸、莫可名狀。即白帝天君白招拒、統領仙官、神吏、鎮此山。上主太白之精、居七氣素天之内矣。

廣野山。廣野山者、天之地岳也。在北海弱水之中、形如崑崙、酆都羅山、合為陰氣之主、上多瓊樓、寶闕、金液、龍芝、莫可名狀。即黑帝天君叶光紀、統理仙官、神吏鎮此山。上主辰星之精、五氣玄天之内矣。

崑崙山。崑崙山者、天之中岳也。在八海之間、上當天心、形如偃盖、上廣下狹、三成而上與天齊、日月黃赤二道交會、其上三光行焉。東曰崑崙、西曰玄圃、北曰浪苑、南積石山大石、山水泉山、北戸山四面、各萬里一土、有瓊華之闕、光碧之堂、瑤池、翠水、即西王母統衆仙居焉。海中四岳為枝幹、十洲、四島、八海、大川圍繞其側、絶頂之上、有金臺、五所、玉樓十二、金城千里、地生金根之樹、瓊柯、瑤林、紫雀、翠鸞、碧桃、白李、百寶、妙岩、莫可紀述、即黃帝天君含樞紐、統領天大聖衆、鎮此山。皆與五岳名山相連。常有神仙往來、生校生籍。上主鎮星之精、居於中元一氣天中焉。其海外之五岳、即五氣之宗祖矣（雲笈七籤）。

とみえる。

明、楊慎撰、『丹鉛總錄』巻二、地理類、海外五岳に

道經曰、海外蓬萊閭苑有五岳靈山。一曰廣乘之山、天之東岳也。在東海之中、為發生之首、上有碧霞之闕、瓊樹之林、紫雀翠鸞、碧藕白橘、主歲星之精、居九氣青天之内矣。二曰長離之山、天之南岳也。在南海之中、上有朱宮、絳闕、赤室、丹房、紫草、紅芝、霞膏、金體。主熒惑之精、居三氣丹天

之内矣。三曰麗農山、天之西岳也。在西海之中、上有白華之闕、三素之城、玉泉之宮、瑤林瑞獸。主太白之精、居七氣素天之内矣。四曰廣野之山、天之北岳也。在北海弱水之中、上多瓊樓、寶闕、金液、龍芝、主辰生之精、居五氣玄天之内矣。五曰崑崙之山、天之中岳也。在八海之間、上當天心、形如偃蓋、東曰樊桐、西曰玄圃、南曰積石、北曰閭苑、上有瓊華之闕、光碧之堂、瑤池、翠水、金井、玉彭。主鎮星之精、居於中元一氣天中焉。

とみえる。

明、董斯張撰、『廣博物志』には、

崑崙山者、天之中嶽也。在八海之間、形如偃蓋、日月黃赤、二道交會其上、上有瓊華之闕、光碧之堂、瑤池翠水、即西王母統衆僊居焉、絶頂之上、有金臺五所、玉樓十二、金城千里、瓊柯瑤林、紫雀翠鸞、碧桃白李、即黃帝天君含樞紐、鎮此山、主鎮星之精、居於中元一氣天中焉〔雲笈七籤〕。廣乘山者、天之東嶽也。在東海之中、上有碧霞之闕、瓊樹寒林、紫雀翠鸞、碧藕白橘、即青帝天君靈威仰、鎮此山。上主歲星之精、居九氣青天之内矣。長離山者、天之南嶽也。在南海之中、上有朱宮、絳闕、赤室、丹房、朱草、紅芝、霞膏、金液、應天下初得道、神仙皆詣此宮。營形浴質、銷陰煉陽、為長生久視之道。即赤帝天君赤熛怒、鎮此山。主熒惑之精、居二氣丹天之内矣。

麗農山者、天之西嶽也。在西海之中、上有白華之闕、三素之城、玉泉之宮、瑤林、瑞獸、即白帝天君白招拒、鎮此山。主太白之精、居七氣素天之内矣。廣野山者、天之北嶽也。在北海弱水之中、上多瓊樓、寶闕、金液、龍芝、即黑帝天君叶光紀、鎮此山。居五氣玄天之内矣〔並上〕。

海上五岳の名および名称は、上にあげたように多く見られる。けれども、それらが直接、洞天と結びつけられているものはなかった。ただ宋、潘自牧撰、『記纂淵海』の十大洞天、三十六小洞天、七十二福地が記されている箇所ですぐあとに「蓬壺閭苑海上五岳靈山」と「海上五岳」が記されている。このあたりで洞天福地と近いものとして認識されている可能性がある。

おわりに

齊雲山には、洞天福地の名を刻した碑刻が複数ある。いずれも名称の羅列のみで、詳しい記述はない。司馬承禎、杜光庭のものとは、個々の名称、順序など、完全に同じではない。とくに興味深いのは、「海中五嶽洞天」というそれまでの洞天福地にはなかった名称が入っていることであろう。「海中五嶽」と

ほぼ同義の「海上五嶽」自体はあちこちにみえるため、とくに一章をもうけて考察した。洞天福地のあとに「海上五嶽」が並べられるものがあり、イメージとしては洞天に近づいていることがわかる。

齊雲山は「洞天」とみなされているが、司馬承禎や杜光庭の十大洞天・三十六小洞天・七十二福地のいずれにも入っていない。その齊雲山の真仙洞府に洞天福地の名称を羅列した碑刻がいくつも掲げられるのは、どういうことなのだろう。これは、齊雲山の真仙洞府を中心として、十大洞天・三十六所靖慮洞天・海中五嶽洞天・七十二福地が、ネットワークのようにつながりあっている世界を構想したということではないか。司馬承禎や杜光庭の完成した洞天福地の世界の展開の一つとして考えることは可能であろう。